

～みんなでつくる佐世保九十九島の藻場造成～



- 平成12年頃 佐世保市の磯焼けが顕著に

※佐世保が位置する長崎県は、全国2位の漁獲量（当時）を誇る、水産都市。
磯焼けによる漁獲量の低下を懸念

- 平成15年頃～ 九十九島漁協が中心となり藻場保全活動を実施



ポイント ↗ : 208個の島々からなる九十九島の穏やかな海で
より被害のあるウニ駆除に特化して実施

ポイント ↗ : 市水産センターなどと連携し、海藻の提供などを
受けながら、より効果的な事業を実施

効果 ↗ : 毎年の活動により藻場の面積が拡大※モニタリングデータによる
(例)令和2年度：藻場面積3.99ha
令和6年度：藻場面積7.00ha ↘ 3.01ha ↑

効果 ↗ : CO₂吸収源増加⇒地球温暖化抑制に寄与
藻場の増加⇒生物の多様性が高まり、漁獲量回復



九十九島の海の色々を映せて…
JF九十九島

地元小学校

佐世保市
SASEBO CITY



活動内容

- 食害生物（ウニ）の除去
- ウニフェンスの設置
- 母藻の設置（ホンダワラ類）
- アマモ種の播種
- 水産教室による地域理解の増進

藻場の形成



母藻設置

藻場の役割

水質浄化
CO₂吸収源の増加
食料生産の場
生物多様性保全



ウニフェンス設置



アマモ種播種

水産教室・アマモ種付け



ウニ駆除